

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		なないろプラス		公表日		令和8年3月21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・学習する部屋と活動する部屋を使い分けている。	・今後も活動に合わせて環境調整を行っていききたいと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・適切である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	・車いすも入れるようになっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・活動内容によっては場所をわけたり、少人数のグループで行ったりしている。	・今後も活動内容によって場所や人数を分けて環境調整を行い、怪我のないよう十分気をつけていきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・子供の特性に合わせた配慮を行っている。 ・クールダウンする個室やパーテーションが必要だと思う。	・クールダウンする際は、スマイルさんの1階の部屋でクールダウンができるようになっている。またパーテーションも検討していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価表は、皆で共有している。	・今後も評価表について共有していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・話す機会を作る。	・今後も子どもたちの支援について検討する時間をたくさん作っていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・自分が受けていい研修は受講させてもらっている。 ・受けた研修は個人で受講してもらっている。 ・研修を受ける時間を作り、1人1人が自己研鑽していけるよう努めている。	・今後も研修を受けながら自己研鑽していきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・毎月の予定表は保護者の方にお渡ししている。また子どもたちにもわかりやすいように掲示している。	・ホームページに支援プログラムは公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員全員で確認し、追加してほしい内容がある際は、検討を行っている。	・引き続き、職員間での情報共有を図っていきけるよう時間を作っていきたい。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・評価に沿った学習、活動内容を考えて取り組んでいる。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・どのような内容で行うか細かく記載している。	・支援内容を踏まえながら取り組んでいるが、今後も職員間で情報共有を図りながら検討していきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・皆で情報を共有し合いながら立案している。	・今後も楽しく子どもたちが活動に楽しめる内容を考えていきたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・毎月みんなで話し合って内容を考えている。	・曜日ごとで同じに内容にならないように工夫しながら取り組んでいる。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・1人1人のニーズに合わせられるよう努めている。	・今後も継続して、個別支援計画の作成に努めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝礼で活動内容や担当職員を毎日確認している。	・今後も職員で連携を図っていくことができるよう努めていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・気になること等がある際は、会議の時間以外でも職員間で情報共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎日の支援記録や個別記録を残している。	・今後も皆で共有を図っていききたいと思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6か月に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・担当者会議に出席し、その内容については皆で情報共有を図っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・情報提供や学校見学へ同行する機会もある。	・就学時の学校見学の同行や保育園や幼稚園での様子の見学などを通して先生とも情報共有を図っていききたいと思う。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	・わからない ・なかなか交流する機会はない。	・地域の中での活動する機会は今後検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・保護者の方に直接お会いできた時には最近の様子を聞くようにしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・わからない ・年に1度親子療育を行っている。	・1年に1回は親子療育を行っていき、保護者の方同士の情報共有を行える場を設けていきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時にご説明している。	・支援プログラム等については、ホームページにも掲載しているので知らせていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・モニタリングや担当者会議、メール等で様子をお伺いしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・個別支援計画書ができた際には、保護者の方に計画をご説明している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・わからない ・今後取り入れていきたい。	・令和7年度は3月に親子療育を行った。今後も親子療育の計画を立てていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・活動内容は写真付きで毎日ホームページに掲載している。	・活動の様子はホームページに毎日掲載している。今後もホームページで活動の様子は発信していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・ホームページへの顔写真の掲載については契約時に確認している。	・個人情報には今後も十分気をつけていく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・わからない ・今後取り入れていきたい。 ・ファミリーマートさんに壁面を掲載していただいている。	・今後検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・月に1回避難訓練を実施している。	・今後随時ホームページに掲載していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・BCPを作成している。	・ホームページに掲載していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・薬の服薬についても共有している。	・薬の服薬など誰が何の薬を飲んでるかを書類にまとめている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・契約時にアレルギーの有無を確認し、十分気をつけている。	・必ず食べる前には確認をその都度行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・毎月避難訓練を実施している。また避難訓練をした際にはホームページに掲載している。	・避難訓練も、火災や地震、水害、不審者など1年の計画を立てて引き続き行っていき、子どもたちが安心して過ごせるよう支援を行っていきたい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・安全点検は毎月行っている。	・保護者の方には周知できていないので、今後周知していけるよう検討していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・ヒヤリハット報告書を記載し、皆で情報共有を行っている。	・ヒヤリハット報告書については、皆で共有を引き続き行っていく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・年に2回虐待研修を行っている。	・今後も年に2回の虐待研修を行っていく。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			・今後、身体拘束については個別支援計画書に揭示していく。	